

# 「へやくる！」だらだらと賃貸物件情報を見ることについて

大坪 五郎\*

**概要.** 従来の情報検索インタフェースは、「ユーザは詳細な条件を入力しそれに対する正確な回答を期待する」という前提に基づくものが多かった。しかしながら、日常的に行う検索においてはユーザがそもそも何を入力すれば良いのかのイメージを持っていない場合も多い。不動産情報の検索はそのような性質を持っているという想定のもと、まずユーザに情報を提示し、そこから気が向くままに条件を加え、変更、削除してもらうことを目的とした iPad アプリ「へやくる！」を開発した。既存の不動産情報検索アプリと比較し、一つの条件を設定するのに必要な手順が劇的に削減されており、ユーザは不動産情報について学びつつ様々な探索を試みることができる。

## 1 はじめに

従来の情報検索インタフェースは、ある程度自分が何を探そうとしているかユーザが把握していることを前提とし、設定された詳細な条件に対して正確な結果を返すことを目標としたものが多かった。しかしながら、問題領域によってはユーザが自分が何を探そうとしているか明確に自覚しているとは限らない。筆者が開発した Gards[3] では「毎日のお昼に何を食べるか選択する」という極めて曖昧な問題意識のもとでは、とにかくユーザに情報を提示し、その後のフィードバックを受け付け、それに対する情報を素早く提示することでユーザが当初想定もしていなかった「回答」に辿り着けることを示した。筆者が現在勤務している企業は HOME'S[1] という不動産情報検索サイトを運営している。自分が住む場所の選択というのは極めて重要な判断であるが、一生のうち何度も行うものではなく普段は関心も薄い。その結果としてユーザは「自分が住みたいのはどのような物件か」「どのような物件に住めるのか」「そもそも条件として何が設定できるのか」といった問題に対して明確なイメージを持たずに検索を行うこともあると考えられる。そのため Gards と共通するコンセプトに基づく検索インタフェースを提供することも有効ではないか、という仮説のもと iPad アプリ「へやくる！」を開発した。

## 2 「へやくる！」について

### 2.1 コンセプト

前記の考察に基づくと、目指すべきユーザインタラクションの特性が明らかになる。すなわちユーザはどのような物件情報がそもそも存在しているのか、あるいはどのような検索条件が設定可能であり、それが何を意味するのかについて十分な知識を持って

いないと想定する。このような場合には情報検索インタフェースはモードレス [4] なインタラクションで操作できることが必要であると考えた。すなわちユーザが自分の意思を反映させようとした際に、一連の手続きを強いる-すなわち特定の「モード」に入らせる-のではなく、興味、気分が赴くまま自由に最短手順での条件変更を可能とし、かつその結果をすぐに返す。これによりユーザは条件を設定することが、どのような意味を持つのか学びつつ物件情報を探索することができると考えられる。

このような特性を考慮し設計した「へやくる！」の画面イメージを図 1 に示す。このアプリでは、起動した瞬間から基本的に画面右側に物件情報が表示され続ける。ユーザはそれに対して、左側に並んでいるアイコンをドラッグ・アンド・ドロップすることで条件設定/解除を自由に行うことができる。多くの検索条件は最長 2 タップで設定、変更することが可能であり、変更後は即座に結果が変更される。ユーザが興味をもった物件ができた場合には、その上をタップすることで詳細情報を閲覧することができる。

### 2.2 実装

「へやくる！」は iPad 上のアプリケーションとして実装されている。検索条件を指定した際のソートアルゴリズムは、HOME'S サイトと異なる独自の物を用いているため、サーバー側に専用モジュールを追加している。

### 2.3 評価

「へやくる！」は商用サービスとしてリリースするため、ユーザビリティテストを行い要改善点を洗い出しその結果を仕様に反映させた。また目標とした「モードレスさ」について、他社製不動産情報検索用 iPad アプリとの比較を行った。その結果、他社製 iPad アプリでは一つの条件項目を設定、もしくは

Copyright is held by the author(s).

\* (株)ネクスト



図 1. へやくる! の画面

は変更するのに要する操作数は平均 4.3 であるのに対し、「へやくる!」では平均 1.7 であることが確認できた。このようにユーザが自分の意図を検索結果に反映させるために必要な操作数が少ないので、それだけユーザは思いつきを簡単に検索結果に反映させることができる。またインタフェースデザインには、開発とほぼ同時期に発表された iOS7 の新しいデザインコンセプトを反映している。アプリの主役はあくまでも物件情報（コンテンツ）であり、それ以外の不要な要素は極力排除し、画面デザインの面からも物件情報とユーザ間の距離を縮める事を狙っている。そうしたデザイン方針を徹底した結果、iOS7 全体のデザイン思想と合致した簡素で美しい画面デザインが実現できた。

### 3 関連研究

検索結果に対して、ユーザが能動的に自分の意図を反映させていく、という点では山本、中村らの Rerank-By-Example[2] がある。一度でユーザが意図する検索結果を得ることを期待せず、積極的にその意思を反映させることで望む結果にたどり着くことを目指している点が「へやくる!」と共通する。

### 4 まとめと今後の予定

「へやくる!」は現状細かい条件設定が必須となっている不動産情報検索に「モードレスさ」を持ち込み、ユーザがより気ままに閲覧できることを可能とした試みである。

今後実際に使用されたログデータを蓄積し、我々の狙いがどの程度成功を収めたか、また今後どのような方向に進むべきかについて検討する予定である。

### 参考文献

- [1] HOME'S. <http://www.homes.co.jp>.
- [2] 山本岳洋, 中村聡史, 田中克己: Rerank-By-Example: 編集操作の意図伝播によるウェブ検索結果のリランキング情報処理学会論文誌 (トランザクション) データベース, Vol.49, No.SIG7 (TOD37), pp.16-28, 2008 年 3 月.
- [3] 大坪五郎: Gards - 変化し続ける興味に対応する情報推薦, WISS2005 論文集, pp.31-36, 2005.
- [4] ソシオメディア: 「モードレス」  
<https://www.sociomedia.co.jp/326>.